

第152回
定時株主総会
参考資料

1. 企業集団の現況に関する事項

日本経済

米中貿易摩擦の影響

中国経済の減速懸念

新型コロナウイルス感染症の拡大

厳しい状況で推移

倉庫物流業界

- 国内貨物の荷動きは底堅く推移
- 輸出入貨物の荷動きは鈍さが増す

不動産業界

- オフィスビルの空室率は低い水準で推移
- 賃料水準は小幅な上昇に留まる

依然として厳しい状況で推移

中期経営計画「YASDA Next100」を策定

物流事業

- 付加価値の高いロジスティクス・サービスの提供による取引の拡大
- 物流施設の拡充

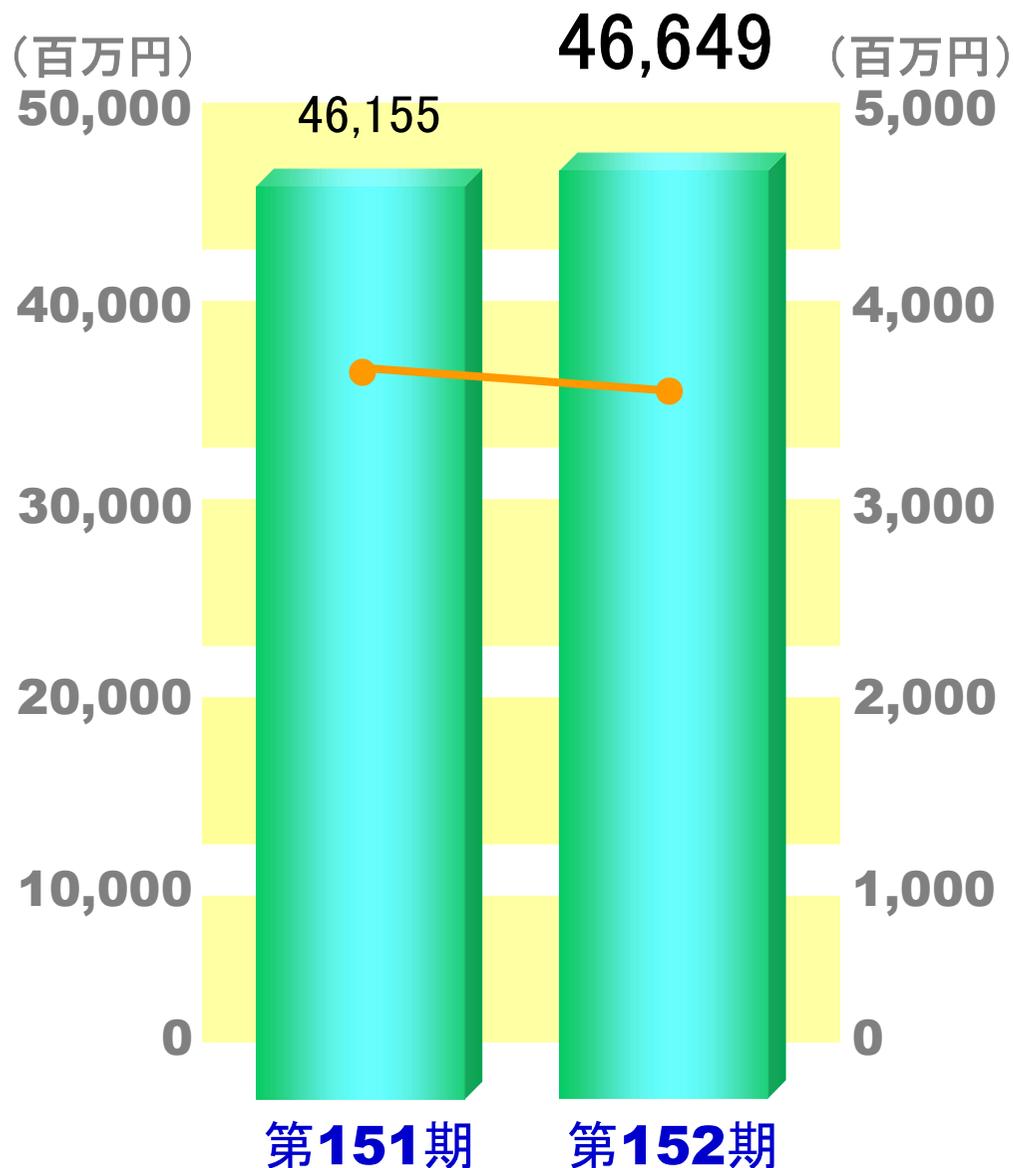
事業基盤の強化

不動産事業

- 既存施設の適切なメンテナンス
- 機能向上の推進

稼働率の維持・向上

当連結会計年度の業績



営業収益

46,649百万円 
前期比494百万円増
(1.1%増)

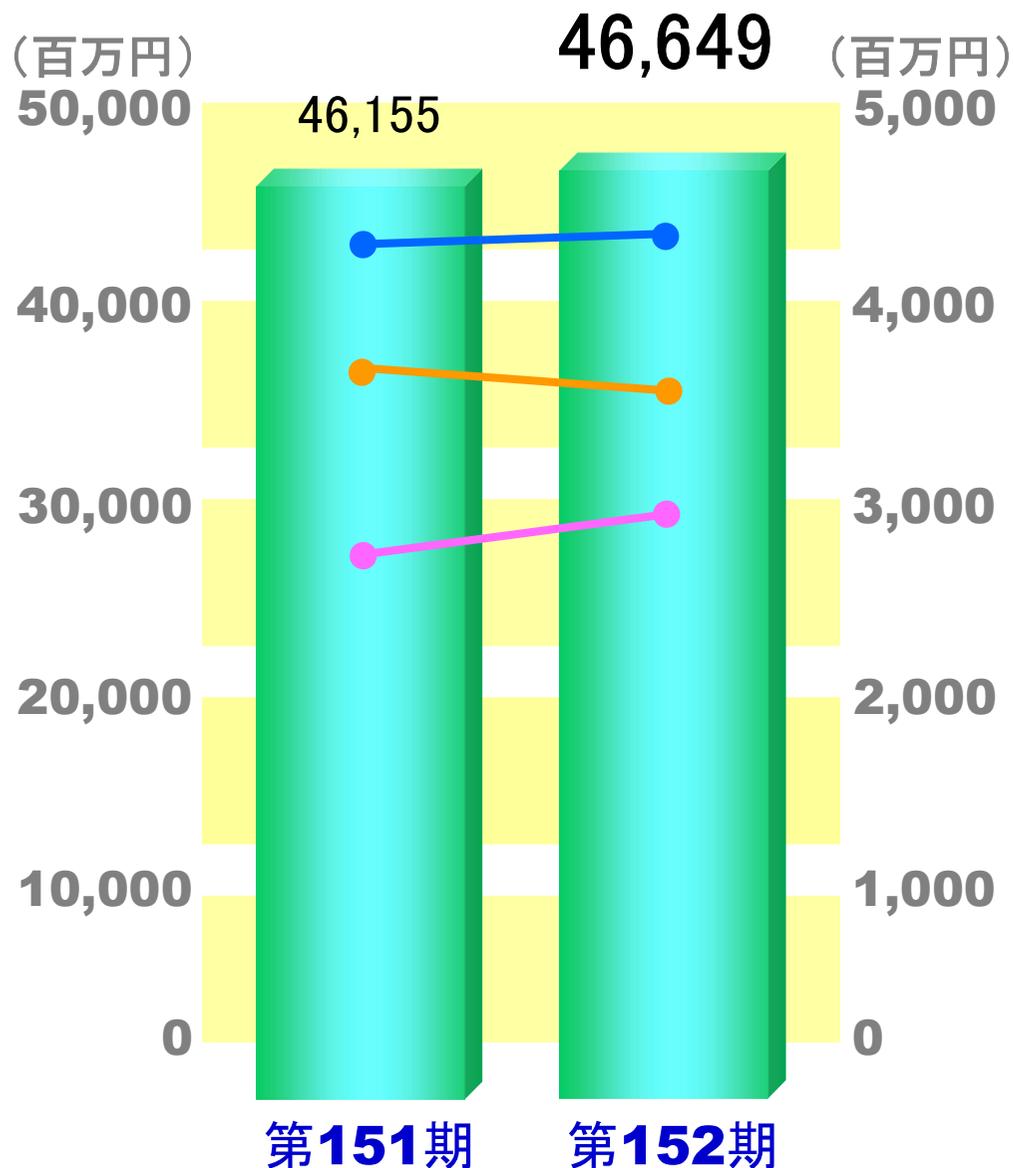
- 物流事業 
- 不動産事業 

営業利益

3,470百万円 
前期比86百万円減
(2.4%減)

事業拡大に伴う
減価償却費・租税公課の増加

当連結会計年度の業績



営業収益

46,649百万円 
前期比494百万円増
(1.1 %増)

営業利益

3,470百万円 
前期比86百万円減
(2.4 %減)

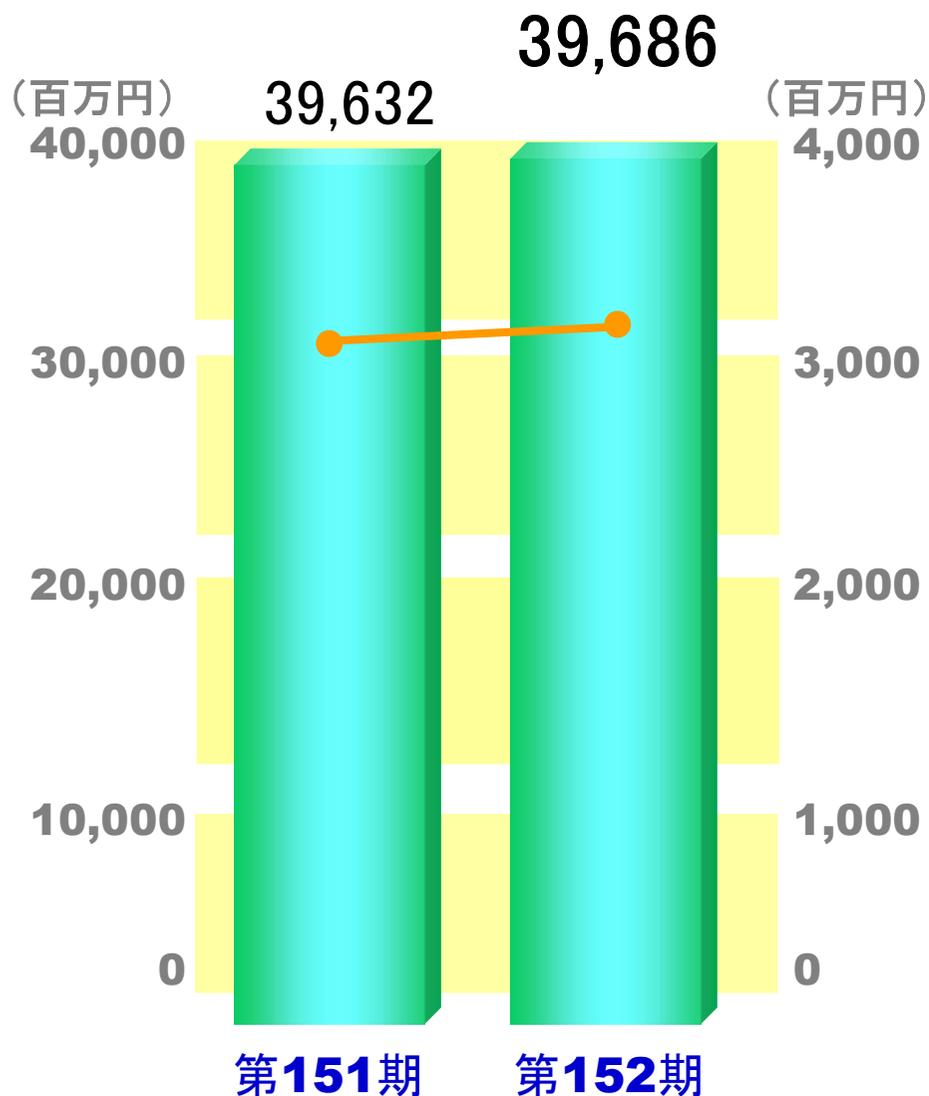
経常利益

4,451百万円 
前期比82百万円増
(1.9%増)

当期純利益

2,947百万円 
前期比156百万円増
(5.6%増)

物流事業の業績



営業収益

39,686百万円



前期比53百万円増
(0.1%増)

セグメント利益
(営業利益)

3,206百万円



前期比46百万円増
(1.5%増)

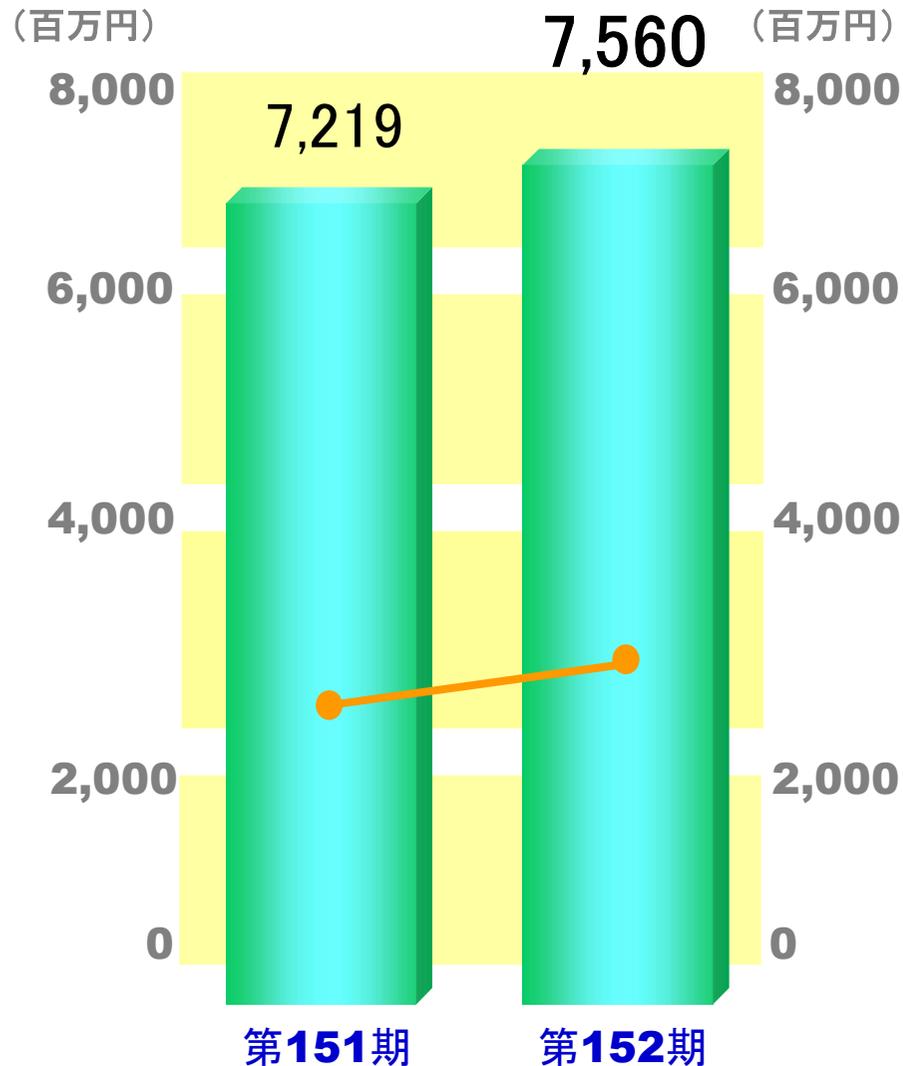
- 新規取引の開始
- 既存顧客の取引拡大
- 保有施設の稼働率向上及び
倉庫・輸配送ネットワークの拡充

増収

増益



不動産事業の業績



営業収益

7,560百万円
前期比340百万円増
(4.7 %増)



セグメント利益
(営業利益)

2,274百万円
前期比149百万円増
(7.0 %増)



- 既存施設の高い稼働率の維持
- 大規模な施工工事等の受託

増収

増益

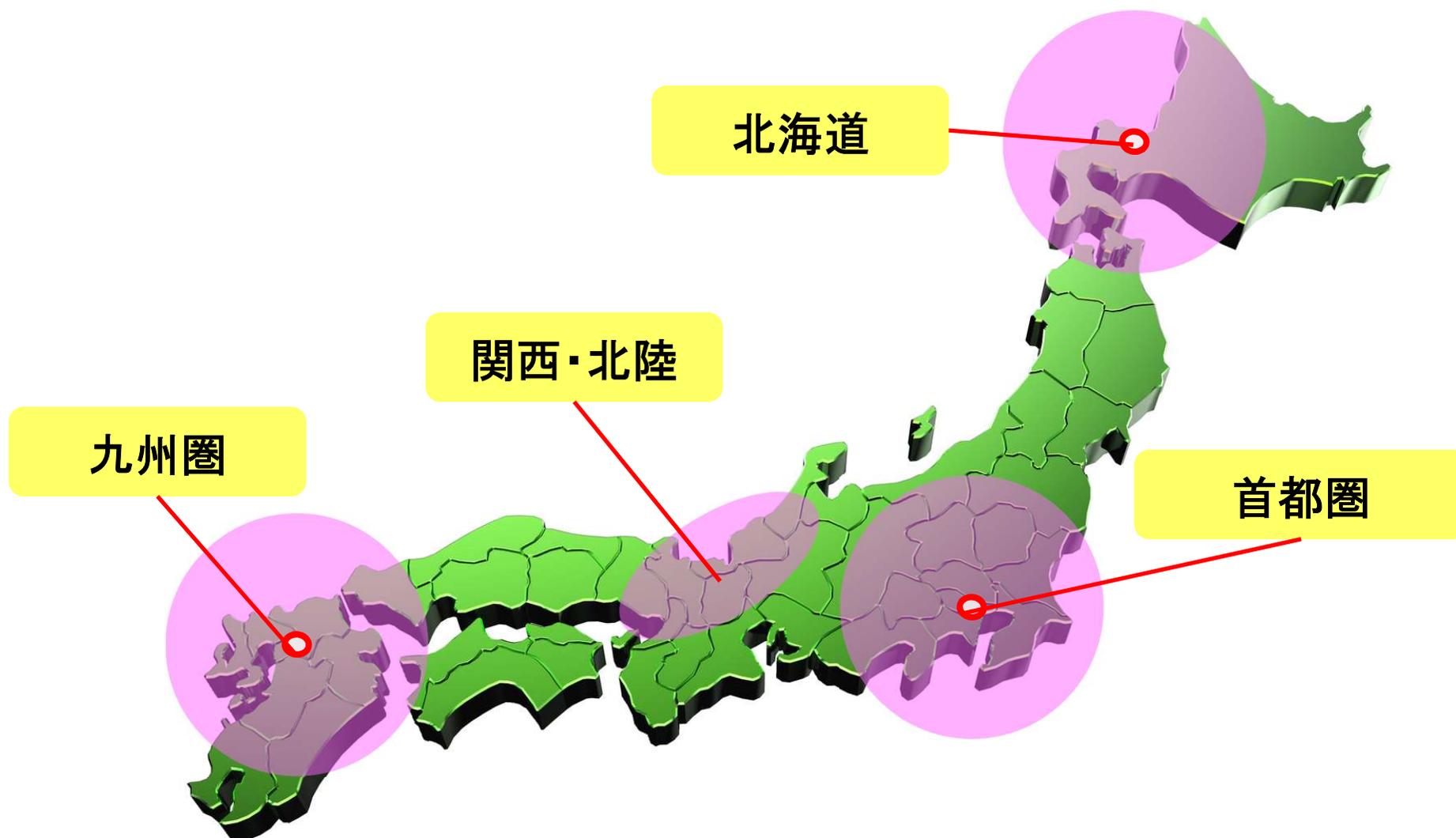


2. 企業集団の主要拠点等

主要拠点



■ 国内事業拠点



主要拠点



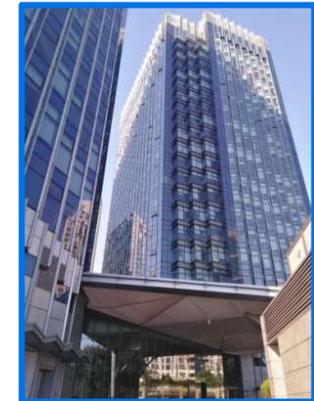
■ 海外事業拠点



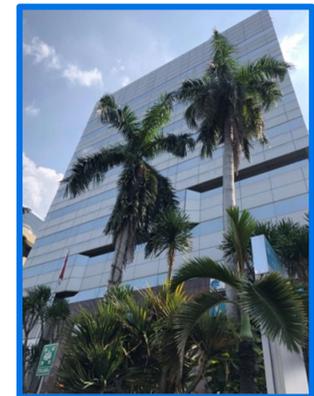
安田物流(上海)
有限公司



安田中倉国際貨運
代理(上海)有限公司



YASUDA LOGISTICS
(VIETNAM) CO., LTD.
(ハノイ)



PT. YASUDA LOGISTICS
INDONESIA
(ジャカルタ)

3. 連結計算書類等

第152期招集ご通知 49ページ~51ページ

連結貸借対照表、連結損益計算書、
連結株主資本等変動計算書

第152期招集ご通知 52ページ~54ページ

貸借対照表、損益計算書、
株主資本等変動計算書

当社ウェブサイトに掲載

連結注記表、個別注記表

4. 会社の体制及び方針等

第152期招集ご通知 46ページ～48ページ
業務の適正を確保するための体制及び
運用状況の概要

当社ウェブサイトに掲載
株式会社の支配に関する基本方針

第152期招集ご通知 48ページ
剰余金の配当等の決定に関する方針

第152期招集ご通知

41ページ～45ページ

会社の株式に関する事項

会社の新株予約権等に関する事項

会社役員に関する事項

会計監査人の状況

5. 対応すべき課題

対処すべき課題(「長期ビジョン2030」～次の100年に向けて～)



『世界に誇れるYASDAブランドと革新的テクノロジーの融合で
全てのステークホルダーの期待を超える企業グループを目指す』

顧客

他の追随を許さないロジスティクス・ソリューションと
人間力で確固たる顧客満足を獲得する。

株主

高い収益力と強固な財務基盤
により企業価値の向上を図る。



従業員

多様性を尊重し働きやすく且つ
働き甲斐のある職場で従業員が
最大限のパフォーマンスを
発揮する。

社会

事業を通じた環境負荷低減や高い災害強靱性で
持続可能な社会の構築に貢献する。

対処すべき課題(「YASDA Next 100」基本方針・基本目標)



基本方針

お客様ニーズに多彩なソリューションと最先端テクノロジーで応え、
お客様と共にグローバルなロジスティクスカンパニーへと成長する。

基本目標

営業収益
550億

営業利益
40億

経常利益
45億

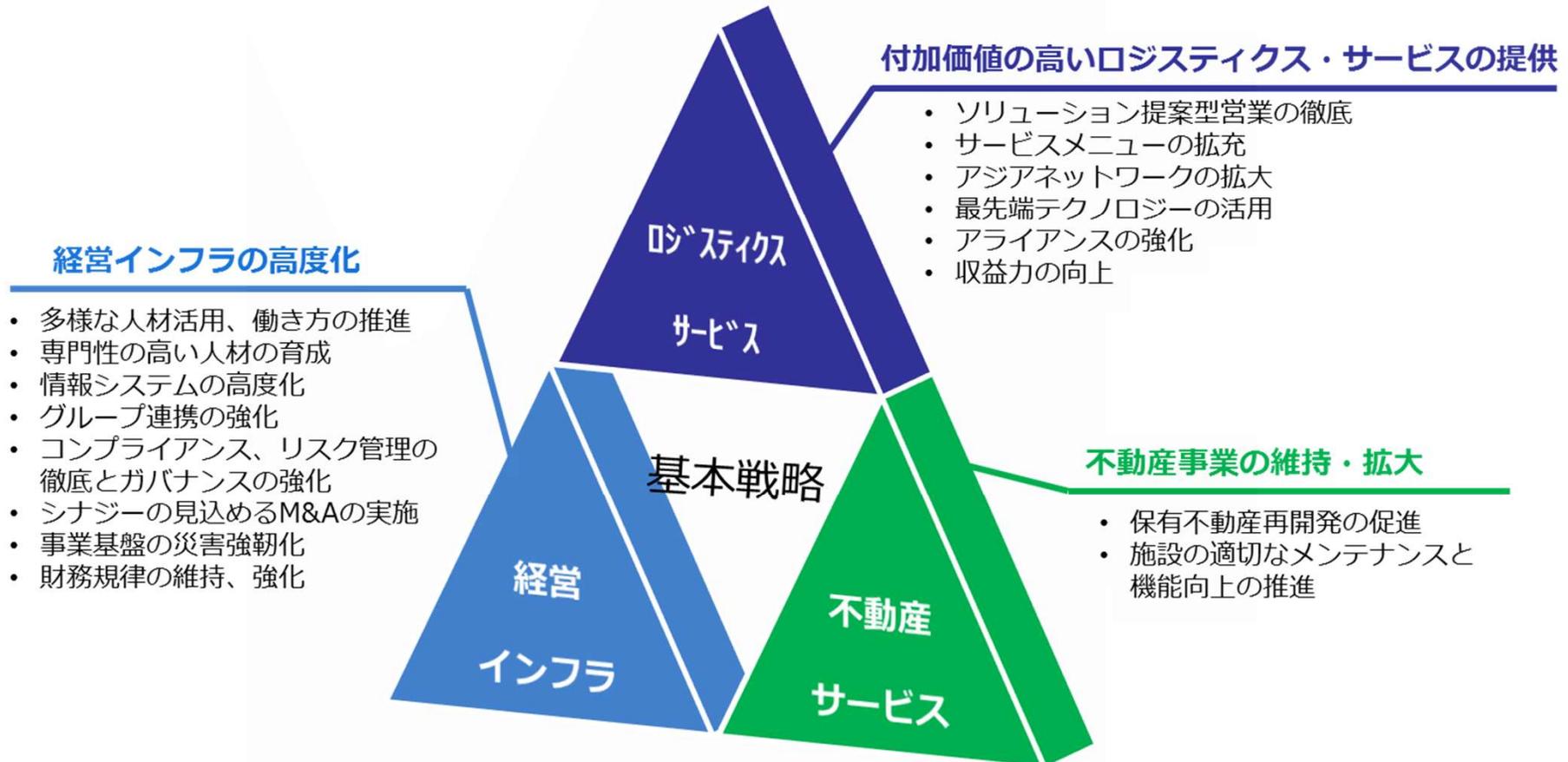
営業利益率
7%

お客様の潜在的な
ロジスティクス・ニーズを
捉えたスピーディーな
課題解決

保有不動産の資産価値向上
による収益基盤の強化

グローバルに渡り合える
グループ経営インフラの
確立

対処すべき課題(「YASDA Next 100」基本戦略)



■ 「YASDA Next100」 初年度の取組み

メディカル物流拠点の拡充

- 東雲の物流施設を取得(本年6月開設)
- 江東区辰巳の物流施設の取得



北陸を中心としたネットワークの拡充

- 大西運輸・オオニシ機工との協働開始



信用格付が「A- (安定的)」に格上げ



第152回
定時株主総会
決議事項

第1号議案 第152期剰余金処分の件

期末配当金 1株 14円50銭

[普通配当金 1株 10円50銭]
[記念配当金 1株 4円]

中間配当金とあわせ 1株 年間23円

第2号議案 取締役7名選任の件

1. 藤井 信行
2. 小泉 眞吾
3. 佐藤 一成
4. 鷺谷 輝雄
5. 小川 一成
6. 久保 信保
7. 井福 正博

第3号議案 補欠監査役1名選任の件

岡 一之

第4号議案 取締役に対する 株式報酬制度導入の件

導入目的

- 取締役の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確化
- 株価上昇によるメリットのみならず、株価下落リスクも株主の皆様と共有



中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高める

第4号議案 取締役に対する 株式報酬制度導入の件

- 種類 株式給付信託
- 対象者 取締役(社外取締役除く)及び取締役を兼務しない執行役員
- 報酬等の額
 - ・2021年3月末～2022年3月末の2事業年度(当初対象期間)
→ 132百万円(うち取締役分として80百万円)を上限
 - ・当初対象期間の経過後の3事業年度(中期経営計画)毎
→ 198百万円(うち取締役分として120百万円)を上限
- 給付時期 退任後給付

※第140回定時株主総会においてご承認をいただいている取締役報酬額とは別枠

詳しくは第152期招集ご通知13ページ～16ページをご参照ください

第5号議案 当社株式の大量買付行為に関する 対応策（買収防衛策）の継続の件

- 株主共同の利益の確保・向上の目的をもって導入されていること
 - 当社の企業価値ひいては株主共同の利益に合致するもの
 - 買収防衛策に関する指針の要件を全て充足していること
 - 株主意志を重視するものであること
 - 独立性の高い社外者の判断の重視と情報開示
 - 合理的な客観的発動要件の設定

変更点

- 当社取締役会から大量買付者に追加的な情報提供を求める場合の期限に上限を設定
 - 最初に情報を受領した日から起算して60日間
- 対抗措置の発動条件
 - 東京高裁四類型および強圧的二段階買収に限定

詳しくは第152期招集ご通知17ページ~31ページをご参照ください

ありがとうございました

